

# 緑の気候基金（GCF）と書簡を交換

～アフリカにおける気候変動対策の推進に向けた連携を強化～

2025年8月27日

国際協力機構（JICA）は、8月21日（木）、緑の気候基金（GCF）と、アフリカでの気候変動対策の推進に向けた連携強化にかかる書簡を交換しました。交換は、TICAD9 テーマ別イベント「TICAD 適応イニシアティブ—気候変動にレジリエントな成長に向けて」において、キャサリン・コフマン GCF アフリカ地域部長と、伊藤晃之 JICA 地球環境部長との間で行われました。GCF は、開発途上国の気候変動対策（緩和・適応）を支援する世界最大の気候基金で、サブサハラアフリカを含む脆弱国への支援を重視しています。

世界各地で気候変動の影響が顕在化しつつある中、サブサハラアフリカは気候変動への脆弱性が際立っています。JICA は、TICAD9 の貢献策として、適応策と関連が強い6分野（地域統合、農業・食糧安全保障、水資源、保健、都市計画、都市衛生）の事業を推進し、データ整備や人材育成、知見の共有等の横断的な取り組みを行う「TICAD 適応イニシアティブ」を発表し、気候変動適応策支援のさらなる強化や外部機関との連携・共創の推進を目指しています。

JICA は 2017 年に GCF の認証機関（AE）になり、GCF 資金による事業の形成・実施を行っています。JICA は今後、GCF とより一層協力し、アフリカをはじめとする途上国の気候変動対策に貢献していきます。



書簡の交換の様子

## 関連リンク

[TICAD9 JICA Thematic Events](#)

[緑の気候基金 | 外務省](#)